

外来者の温泉資源の利用と意識特性に基づく湯けむり景観の保全に関する課題
—重要文化的景観の保全活用に関する研究(その2)—

正会員 ○牛 苗* 同 姫野 由香**
同 野本 昂* 同 佐藤 誠治***

文化的景観 生活 温泉資源
外来者 生業 認知度

1 研究の背景と目的

鉄輪・明礬温泉地区(以下鉄輪・明礬とする)を対象とした既往研究より、この地区に関わる人々は湯治宿の経営、湯の花製造販売といった外来者をもてなす生業や生活のために、温泉資源を利用し、現在の「湯けむり景観」を成立していることが明らかとなった。また、当該地区の景観を創出する住民の生活・生業を支える外来者の温泉資源の利用は、「湯けむり景観」を形成する重要な行為である。このことから、「湯けむり景観」を保全するためには外来者の温泉資源の利用継続に関する課題を明らかにすることが重要であるといえる。

そこで、本稿その2では、外来者に関するアンケート調査により、外来者の温泉資源利用の傾向及び重要文化的景観に選定された事実の認知度を把握する。それらの結果から、温泉資源の利用継続に関する課題を導出することを目的とする。

2 研究方法

本研究では、鉄輪・明礬における外来者の温泉資源の利用傾向を把握するために、外来者を対象とし、アンケート調査を行った。アンケート調査の実施概要は表1に示す。また、調査項目は大きく3部分構成となっている(表2)。第I部分では外来者の属性・来訪目的等を尋ね、第II部分では外来者の温泉利用について「どのような温泉資源を利用したか」を尋ねた。また、温泉資源を再び利用するには、どのような「施設・工夫・サービス」があると利用しやすいか等、温泉利用についての課題や要望の自由記述欄を設けた。第III部分では重要文化的景観の認知度と効果的な周知方法を尋ねた。本稿では、第II部分と第III部分を中心に論述する。

表1 アンケート調査の実施概要

目的	外来者の滞在中の温泉資源の利用実態と重要文化的景観の認知度の把握
方法	両地区に訪れた観光客へインタビュー形式で街頭アンケートと、両地区の旅館にアンケート調査票を設置し、宿泊客にアンケートを記入頂いた。
期間	平成25年12月～平成26年1月
対象	鉄輪・明礬温泉地区に訪れた観光客
回答部数	鉄輪温泉地区 158部 明礬温泉地区 102部

表2 アンケートの内容構成

I アンケート記入者について	
1. 性別	
2. 年齢	
3. 滞在・訪問目的(一つのみ)	
4. 一緒に来られる人	
5. 滞在・訪問回数	
6. 滞在期間	
7. 住まい都道府県	
8. 交通手段(複数回答可)	
II 滞在中の温泉利用について	
1. 利用した温泉資源(複数回答可)	
2. 温泉資源利用するための「もの・工夫・サービス」を自由記述	
3. 滞在中で印象に残ったもの(複数回答可)	
III 重要文化的景観について	
1. 鉄輪・明礬の重要文化的景観の選定を知っているか	
2. 効果的な周知方法(複数回答可)	

3 アンケート調査結果にみる外来者の温泉利用実態

3-1 外来者の温泉資源利用傾向

表3に外来者の温泉資源の利用方法ごとの割合を示す。鉄輪では、全ての年代で「温泉に入浴」の割合が最も高く55.6%である。次いで「地獄(観覧施設)に行った」が18.4%、「地獄釜を利用」が14.1%である。明礬では「温泉に入浴」の割合が最も高く、66.9%である。次いで「地獄(観覧施設)に行った」が17.6%、「湯の花を購入」が8.8%である。このことから、鉄輪・明礬ともに、「入浴」と「観覧」が温泉資源の主な利用であることがわかる。また、鉄輪では「地獄釜を利用」、明礬では「湯の花を購入」という利用は、それぞれの地区で特徴的な温泉資源の利用といえる。

3-2 観光地としての課題

鉄輪・明礬における外来者の再び温泉資源を利用する意見や要望は、計106件が挙げられ、これらの課題は大きく5つに分類することができる(表4)。鉄輪・明礬で、「サービスの向上」に関する提案が最も多く、54.7%を占めている。このことから、外来者は施設などのハードウェアの充実よりも、利用しやすい環境をつくるためのサービスの向上といった、ソフトウェアの充実を望んでいることがわかる。

4 外来者の重要文化的景観の周知

4-1 重要文化的景観の認知度について

外来者のうち、重要文化的景観に選定されたことについて「知っている」と答えた人の割合は、鉄輪で20.8%、明礬で19.6%であり、両地区ともに20%程度に止まっている(表5)。このことから住民への周知に加え、外来者への情報発信も大きな課題であるといえる。

表3 滞在中利用した温泉資源の用途

地区	年齢	利用した温泉資源						合計(回答数)
		温泉に入浴 [%]	地獄釜を利用 [%]	湯の花を購入 [%]	地獄(観覧施設)に行った [%]	温泉水を購入(飲用・美容) [%]	利用なし [%]	
鉄輪	20代未満	83.3%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	6
	20代	44.9%	16.3%	2.0%	22.4%	4.1%	10.2%	49
	30代	51.7%	16.7%	3.3%	20.0%	3.3%	5.0%	60
	40代	58.1%	19.4%	0.0%	16.1%	3.2%	3.2%	31
	50代	64.3%	7.1%	7.1%	17.9%	0.0%	3.6%	28
	60代	58.8%	8.8%	8.8%	17.6%	0.0%	5.9%	34
	70代	58.3%	16.7%	4.2%	12.5%	4.2%	4.2%	24
	80代	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2
合計	55.6%	14.1%	3.8%	18.4%	2.6%	5.6%	234	
明礬	20代	78.9%	0.0%	5.3%	15.8%	0.0%	0.0%	19
	30代	52.6%	5.3%	10.5%	23.7%	5.3%	2.6%	38
	40代	82.6%	0.0%	4.3%	13.0%	0.0%	0.0%	23
	50代	81.8%	4.5%	4.5%	9.1%	0.0%	0.0%	22
	60代	61.5%	3.8%	11.5%	19.2%	0.0%	3.8%	26
	70代	50.0%	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	6
	80代	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1
	合計	66.9%	2.9%	8.8%	17.6%	1.5%	1.5%	136

*: 当該回答者割合のうち最上位

**: 当該回答者割合のうち上位3項目

4-2 重要文化的景観の周知方法

「湯けむり景観」が文化財であることを周知するため、有効であると選択された方法を年代別に整理した(表6)。そのうち、最も多く挙げられた方法は「テレビ」で全体の26.8%を占め、全ての年代においても割合が最上位である。次いで、「Web サイト」15.0%、「雑誌」11.8%である。

表4 温泉資源の利用継続における課題と提案

鉄輪温泉地区		明礬温泉地区	
カテゴリー	自由記述の内容	カテゴリー	自由記述の内容
資源の利活用	温泉資源	資源の利活用	温泉資源
	温泉施設	温泉施設	温泉施設
施設整備	交通	施設整備	交通
	その他		その他
サービスの向上	清潔さ	サービスの向上	清潔さ
	料金		料金
	食事		施設案内
	レンタル		食事
	施設利用・施設案内		設備
	まち歩き		アクセス
	アクセス		宣伝方法
	宣伝方法		その他
	イベントの開催		その他
	イベントの開催		その他

() 同じ意見の数

表5 重要文化的景観の認知度の割合

		重要文化的景観に選定された事実の認知		合計
		知っている	知らない	
鉄輪	回答数	26	99	125
	割合	20.8%	79.2%	100.0%
明礬	回答数	20	82	102
	割合	19.6%	80.4%	100.0%
合計	回答数	46	181	227
	割合	20.3%	79.7%	100.0%

表6 外来者の挙げた有効な周知方法

年齢	周知の方法										合計(回答数)		
	テレビ	ポスター	新聞	ラジオ	Web サイト	ロコミ	雑誌	イベントの開催	まち歩きガイド	ツアーガイド		象徴的なマーク	その他
20代未満	38.5%	7.7%	0.0%	0.0%	15.4%	0.0%	7.7%	15.4%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	13
20代	26.7%	9.5%	7.6%	0.0%	21.0%	4.8%	16.2%	5.7%	5.7%	1.0%	1.9%	0.0%	72
30代	20.8%	10.7%	8.2%	1.9%	16.4%	5.7%	15.1%	6.9%	7.5%	3.1%	3.1%	0.6%	128
40代	28.3%	12.0%	7.6%	4.3%	14.1%	5.4%	7.6%	9.8%	6.5%	2.2%	2.2%	0.0%	85
50代	30.4%	14.1%	18.5%	1.1%	13.0%	2.2%	7.6%	7.6%	3.3%	1.1%	1.1%	0.0%	86
60代	24.5%	9.8%	15.7%	3.9%	12.7%	6.9%	11.8%	6.9%	3.9%	0.0%	2.9%	1.0%	69
70代	37.2%	7.0%	14.0%	2.3%	7.0%	2.3%	9.3%	9.3%	2.3%	7.0%	0.0%	2.3%	34
80代	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2
合計	26.8%	10.7%	11.0%	2.1%	15.0%	4.8%	11.8%	7.6%	5.6%	2.0%	2.1%	0.5%	608

※ 当該回答者割合のうち最上位

※ 当該回答者割合のうち上位2項目

また、年代間で傾向に差はあるものの、「イベントの開催」7.6%や「まち歩きガイド」5.6%、といった体感や、人を介して伝える手段の活用がどの年代でも挙げられている。それらの手段も有効な周知方法であるといえる。

5 総括と今後の課題

本稿(その2)では、外来者におけるアンケート調査より、温泉資源利用に関する課題を導出した。まず、鉄輪・明礬における外来者の温泉資源利用傾向として、「温泉に入浴」と「地獄(観覧施設)に行った」が中心であった。さらに、温泉資源の利用継続の課題として、施設などのハードウェアの充実よりも、利用しやすい環境を得るためのサービスの向上を望んでいることが明らかとなった。また、外来者の重要文化的景観の認知は低い、有効な周知の方法として、「イベントの開催」や「まち歩きガイド」といった体感や、人を介して伝える手段の活用が一定の割合で確認され、効果的であることが明らかとなった。本稿(その2)では、温泉資源利用に関する課題を明らかにしたが、「湯けむり景観」保全の方向性までは明らかとされていない。今後は、これらの結果をもとに、専門家や地域団体が協力し、「湯けむり景観」保全の方向性や具体的な保全方針を検討する必要がある。

【参考文献】

- 1) 福井彩乃, 佐藤誠治, 姫野由香「古写真にみる景観変容と選考景観の構図の特性 別府市鉄輪・明礬温泉地区の重要文化的景観指定に関する研究」日本建築学会大会学術講演梗概集 F-1 分冊, pp.981~982, 2009.8
- 2) 森下泰敬, 佐藤誠治, 姫野由香「景観構成要素と生活・生業の関係性の導出—別府市鉄輪・明礬温泉地区の重要文化的景観指定に関する研究—」日本建築学会九州支部研究報告第50号1, pp.309~316, 2011.3
- 3) 牛苗, 松本彩花, 森下泰敬, 姫野由香, 佐藤誠治「人々の生活・生業に関わる温泉資源の利用と景観形成の関係性—別府市鉄輪・明礬温泉地区の重要文化的景観指定に関する研究—」日本建築学会九州支部研究報告第52号1 pp.289~293, 2013.3
- 4) 別府市教育庁生涯学習課「平成20年度湯けむり観保存管理のための専門調査報告書」2009.3
- 5) 別府市誌, 第1巻~第3巻

*大分大学大学院工学研究科博士前期課程

* Graduate Student, Oita University

**大分大学工学部福祉環境工学科・助教 博士(工学)

** Research Associate, Dept. of Architecture, Faculty of Eng, Oita University, Dr. Eng

***大分大学 名誉教授・工学博士

*** Prof. Emeritus, Oita University, Dr. Eng.